ラトビア派遣

ラトビア派遣団13名は、9月8日～25日の18日間、リガ、リエパーヤ、アルスンガ、バルテザーズ等を訪れ、ラトビア大統領や日本国大使の表敬、企業や大学の訪問、現地青年とのディスカッションやボランティア活動、ホームステイ等を行った。

ライモンツ・ヴェーヨニス大統領を表敬する（リガ）

占領博物館にて、占領時代の歴史や苦難を学ぶ（リガ）

ラトビア青年とシティゲームを行いながらリガの街を周る（リガ）

スイツ・シエヴァスの民族衣装を試着する（アルスンガ）

ディスカッション・フォーラムで民族対立について議論する（バルテザーズ）

ディスカッション・フォーラム後、互いに評価やコメントを記入する（バルテザーズ）

国立美術館の受付をボランティア体験する（リガ）

国立公園でサイクリングしながら、ラトビアの自然を学ぶ（ケメリ）

日本青年海外派遣研修

日本青年海外派遣団は、事前研修、出発前研修及び帰国後研修を通じ、本事業への理解を深めるとともに、団の結束を固め、事後活動への意識を高めた。

駐日ラオス人民民主共和国大使館を訪問し、ラオスの概要についてお話を伺う（事前研修）

外務省職員から訪問国の概要や歴史についてお話を伺う（事前研修）

英語でのディスカッション方法について学ぶ（事前研修）

国際青年交流会議のテーマの一つである「多文化共生」について考える（事前研修）

留学生と一緒に英語でディスカッション演習をする（事前研修）

自主研修期間中に練習した日本文化紹介の合唱を披露する（出発前研修）

ラオス派遣団が本事業の成果を発表する（帰国後研修）

参加青年が謝辞を述べる（帰国後研修）